

あどぼけいと

HSK



2017年10月号 No.202 [October] 定価 100円

1973年1月13日第3種郵便認可 HSK通巻番号547号

発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会

発行日=2017年10月10日(毎月10日発行)

編集者=我妻 武

◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

ホームページ <http://npolife.net/>

あどぼけいと [advocate] = すべての人がもつ権利を、障害などさまざまな理由で行使できない状況にある人に代わり、権利擁護のための活動を行っている人々の事。

第34回共同連全国大会 滋賀大会

2017年9月2日・3日

ころや 田中 伸和

滋賀県草津市の「びわこ・くさつキャンパス」で9月2日、3日に共同連全国大会が開催され、ライフからは8名が参加しました。

滋賀大会「社会的事業所宣言」というテーマで始まった大会は、初日の開会式、記念対談、シンポジウム、交流会、2日目の分科会、公開講座、閉会式という流れでした。

記念対談は「社会的包摂と社会的事業所」という題でした。社会的事業所が多くの人に研究され、その魅力や必要性が広まっている事を感じました。

社会的事業所促進法大綱案は、政権交代により取り入れられなかったようですが、困難は増え続け、社会が共同連などの活動を知り、社会的事業所を必要としているのだと感じました。

シンポジウム「社会的排除をなくす『共働』をめざして」では様々な困難を持つ人たちと一緒に仕事や支援をして、日々奮闘している話が聞けました。

その方々の方向は豊かな地域や人で、現在制度では埋められていない部分に入り、「共に」を考え、実行していました。

協同組合のお二人の話では、

- 一人一人が大切にされ、個々の違いを認め合い、必要なお金を皆で出資して、一人一人が責任を持って話し合っていく。
- 自分達の地域でより良く暮らしていくために必要な事を事業にしてお金を稼いでいく。
- 市民が主権者として地域をつくっていく。
- たくさんの人を雇用したり出来るようなお金は稼げないようですが、それぞれの人の事情に合ったお金を分配



している。

との事でした。

ホームレス支援の奥田さんの話では、

- 資金の多くが寄付金で成り立っている。
- 自主事業で稼ぐために、同じく困っている人同士で連携を深め、互いに困っている事を埋めていく。
- ホームレスの人、賃貸の貸主、保障会社の3者で新しい仕組みを作っている。

との事でした。ホームレス支援で、「最初は伴走型支援とよんでいたが今は伴走支援とよんでいる。もう伴走する事が目的になっている」と言っていたのがとても印象に残りました。

その後の交流会ではダルクの人達の大迫力の太鼓や、各事業所で踊っていたのをまとめたDVDを見て、お腹いっぱい飲み食いき、楽しかったです。

宿泊したホテルはくまもと障害者労働センターの皆さんと一緒に、震災の話を少し聞く事が出来たのですが、少し忘れられてきている感があるな、とっていました。

今までおれんじ村のクッキーを買う事位しか実行でき

ていなかったのですが、最近はそれもできていなかった自分に気づき、良くないなと思いました。



わっぱの会の人たちも2日目は一緒に、大きなバスと一緒に会場まで乗せていってもらったのですが、名も知らぬ私におはよう、と挨拶をしてくれて、交流会の催し物で優勝した事を嬉しそうに話してくれたのは嬉しかったです。又ご一緒させてもらいたいです。

2日目は8つの分科会と、公開講座、閉会式で、公開講座では「共同連の昔と今—共同連はどうたたかってきたのか」という題で、共同連の斎藤さん、堀さん、白杉さんにインタビューをするような形での進行になっていました。話は楽しく笑いがおこる場面も多々あったのですが、

とても内容の濃い話で、それぞれのしてきた活動はとても深く、どこかで運動している事を聞けばそこに泊まりこみで一緒に活動をしてきていた、という事でした。なにか大きな組織があつてそこに入ったとかではなく、自分の足で経験して続けてきた活動が今の共同連に至っているのかもしれないと感じました。



札幌市には障がい者協働事業所制度やPAなどがあり、他の自治体より制度が進んでいると感じます。それは自然と生まれたのでは無く、過去からの努力の実りなのだとさらに思いました。

昨年に引き続き参加させてもらい、さらに学ぶ事ができた全国大会でした。

第34回共同連全国大会大阪大会参加後記

共同連全国大会に参加 滋賀の立命館大学へ

もじや 伊東 伸一

バス、飛行機、電車、タクシーをいくつも乗り継ぎ、目的地の滋賀へ。共同連全国大会に参加させていただきました。

会場となる立命館大学びわこ・くさつキャンパスは、小さな町、大きなテーマパークのようで、北海道の大学とのスケールの違いに驚かされました。

第1日目は、韓国の知的障害がある青少年の合唱団、エバンジェーリの素晴らしい歌から始まり、続いて記念対談へ。

対談者のひとり宮本太郎さんは、今後の日本における社会的事業所の重要性をわかりやすく解説してくださり、これからのライフの存在意義を感じることができまし

た。続いてのシンポジウムでは、4団体の代表者の方々が活動を紹介され、その中でもホームレス支援全国ネットワーク代表の奥田知志さんのアイデア、発想の転換によって同じ物事でも見え方・感じ方が変わることは、共感を感じ、また、人と人を繋いでいく人望、行動力と力強さには、尊敬と羨ましさも感じさせられ、勉強になりました。

第2日目の分科会では、障害福祉サービス「サービス事業の中で～制度は使うためにある」に参加、発題者の4名の方々が、各事業所の活動を紹介されました。各々の事業所にも問題点があり、地道な活動を続けていること等がわかりましたが、これからの〈進むべき方向〉につ

いては特に触れられなかったことが残念でした。

他にも興味のある内容の分科会もあったので、次回共同連に参加することがあれば、2つ以上の分科会を受けられるようになれば嬉しいなと思いました。

昼食をはさんでの公開講座「共同連の昔と今—共同連はどうたかかってきたのか」では、日本の歴史に寄り添うように共同連が生まれ続けてきたことがわかり、共同連の本質に少し触れられたような気がしました。

今回の滋賀での共同連は、天気にも恵まれ助かりました、行き帰りを含め4日間の行程で移動が多かったのも、もし雨が降っていたら大変だったろうと思います。

一緒に参加した、田中さん、川村さん、佐藤さん、木谷

さん、山本さん、ジョンさん、坂本さん、お世話になりました、ありがとうございました。



第49次札幌市教育研修集会に参加して

たねや 木原 悟志

去る9月30日にかでる2、7で行われた。札幌市教育研究集会に参加してきました。

僕が参加したのは午後からの分科会でしょうがい児教育に参加しました。

分科会では数名がレポートを発表しました。札幌小学校の能登先生と阿部陽香の発表でした。障害者権利条約が2006年に出来ていたのに日本は2014年批准することが出来た。その間に障害者基本法、虐待防止法等を変えてやっと批准した。障害者権利条約の中には子供たちの教育については分離するのではなくインクルシブでやると明言してあります。ドイツは今まで儀医務教育でも落第させる等見直されて無くなったということです。

阿部さんが娘のりりんさんの現状を聞かせてくれました。学校は協力的でりりんさんがすごしやすいようにしてくれています。昨日が学校祭だったのですが、りりんさんは一人だけ早く帰るのが嫌でお母さんが遅く帰るのはかまいませんと言ったら先生もりりんさんの安全が確保できればOKで、りりんさんも自分の出来ることを見つけてやったり最後まで一緒に居ることがりりんさんにとってはすごく重要でそういう意味でも中学校生活はすごく楽しく出来てるといいます。高校受験についてこれからどんなサポート

が出来るか先生達と協力してみんなと同じ高校に進める道を探したいと思います。

青野比奈子さんひろむさんが昨年と今年札幌南校定時制を定員内不合格と恵庭南校定時制に合格した経緯を発表しました。皆さんも大体の経緯は知っていると思うので省略します。恵庭南校受験日の前日が出願日で道教委は出願した時から道教委学校に向いて学校の考えに様々な変更を求めてきた。青野さんが後で聞いておどろいたのは受験日の変更まで求めてきたそうです。その話は本人や親や介助者には知らされていないことでした。

この話を聞いておどろきました。そこまでしてひろむさんを高校に入れさせたくなかったか！

最後に全ての子供には学ぶ権利がある。そこには障害とか貧困とかは関係ない高校進学率98%とも言われて義務教育と変わらないこの時代に市教委、道教委のえらいさんの面子と一度しかないひろむさんや高校を受験しようとする障害児青春とどっちが大事なんだ！子供らの時間はあんたらの出世の道具じゃないんだぞ！その子供らの時間を守るのがあんたら市教委、道教委の仕事だろもつと真摯に子供らの未来を守ってほしい。

就労継続
支援事業
A型

共働事業所 **きばりや**

農業／軽作業

■農業 ■ポスティング ■DM発送 ■軽作業 ■その他委託業務



カフェ・ド・キバリヤ

Cafe de **Kibariya**

喫茶

■カフェ、ランチ、スイーツなど ■食品販売

下水道科学館フェスタを終えて…

きばりや 大浦 拓磨

最近、風が冷たくて秋を通り越してあつというまに冬になってしまった感じがします。みなさんいかがお過ごしでしょうか。

さて1か月ほど前にオールライフのイベントの下水道科学館フェスタがありました。全事業所から約50人の仲間たちが一堂に会し汗をかいて働く姿を見る事ができ、普段はあまりかわりがない人たちともコミュニケーションがとれて大変楽しいイベントでした。…が、時代が違うのか、新しく入った人が多いのか、どういふ気持ちなのかかわからないが準備、撤収作業の時に自分の持ち場が片付くとほけ一つとしておしゃべりして時間をつぶして他の片づけを手伝わない人がいたのが非常に残念でした。

昔はイベントがあるたびに誰かの怒号が響いていたのだが今はないのが寂しい…。

気づく機会もないまま進んでいくのか、どうなるのかライフの未来。

下水道科学館フェスタ きばりや 真光 和徳

9月9日(土)に下水道科学館フェスタに参加しました。野菜と飲料販売の担当でした。

去年より飲み物を買ったお客さんが多い気がしました。でも、もう少し野菜にお客さんが来てくれれば良かったなと思いました。

下水道科学館フェスタに参加してよかったです。



カフェに来て

きばりや 織本 亜哉子

9月から研修でカフェに来て1か月間働きました。カフェの仲間と仲良くしながら、頑張って仕事を覚えて働いています。

もし、聾啞者のお客さんが来たら、手話で接客できるようにしたい。

カフェのみんなとお互いに助けあいながら働いていきたい。

10月からもお客さんに対してもう一生懸命がんばりたい。

カフェにお客さんがたくさん来てくれるように一生懸命がんばって接客できるようになっていきたい。



Cafe de Kibariya

カフェ・ド・キバリヤ

今月のオススメ

きばりやで栽培された黒豆(甘煮)のおいしさを活かしたあんみつです。寒天や、黒蜜も沖縄黒糖からの手作りです。期間限定ですので、ぜひ!!



《黒豆あんみつ(バニラアイス付き)》
..... 460円



kokoroya

生活介護事業 **こころや**

お米販売／軽作業

- レクリエーション
- アート活動
- お米の卸し・販売
- 軽作業

共同連滋賀大会にて、宮本太郎さんの講演の聞いて

山本 守一

今、働くことが出来なくて「生活保護」をもらっている人が250万人います。

その中には障害者、生活困窮者など困っている人がいて、年間200万円ぐらいしかもらえてない人が「生活保護」をもらっています。

昔は男が働いて家庭を持ち家族を養っていくわけだから、どんなことがあっても仕事をしていた。

けれども今はどんなに仕事がしたくても出来ない事がある。

たとえ働いたにしても今なら1か月10万円がぐらいで、何だかんで手元に残るのは3万ぐらいだったとしたら何とかしなければならぬ。

そして高齢化も進んでいく中で働ける人と働けない人が1:1になってしまう。

そこで考えてみると、今まで収入をあげるために

急にもっと働け、頑張れ、といっても無理なのではないか。

意欲や働きの頑張りに対して見返りを出さず事も考えてやらなければならない。

と言っていたので、なるほどナァ〜と思い、僕は働きたくても働けないので生活保護を受けているので、考えさせられました。



共同連に参加して

川村 良一

みんなでピヤガーデンに行きビールを飲んでやきとり、フランクフルト、やきそばを食べました。

おみやげは、こころやと、ひだまりときばりやと本部に買ってきました。



共同連に行って

佐藤 賢治

共同連に行き来て、みんなが一体になった大会になった。自分にとってもすごくべんきょうになった大会となった。共同連にはいろんな人が来て、いろんな考え

があることがわかった。本大会では本人たちが考えて学ぶ良いきっかけとなった。そしてわれわれのこれからものぞむ大会となった。自分にとっても本大会はいろいろ学ぶ事のできる大会となった。

バーベキューもとってもおいしくて、みんなで食事をするのははじめてだった。とっても良いきっかけとなった。

本大会ではつくいやまゆりじけんをテーマにした大会だった。





就労継続支援事業B型

ユソ・ブリオ

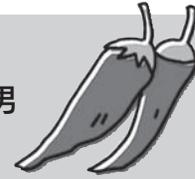
ひだまり

食品販売飲食業／清掃

- 食堂(ランチ、ドリンク)
- テイクアウト弁当
- 自然食品、フェアトレード商品販売

侮るな、カプサイシンの力

秋元 文男



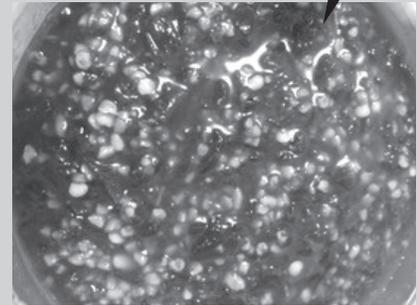
唐辛子の三升漬

夏が終わり、朝晩の冷え込みが「秋」を感じます。

そんな寒さを感じる季節には「とうがらし」です。血行を促進し、老廃物の排出を促して、新陳代謝を高める事で疲労回復、疲れにくい体作りにも効果的です。

「きばりや」の畑で採れた唐辛子で「三升漬」「唐辛子味噌」を作ります。

食欲の「秋」でもありますし、美味しいもの、体に良いものを食べ、健康管理に気をつけ、これからの寒い季節を乗り越えましょう。



下水道科学館フェスタ2017 について

藤川 暉

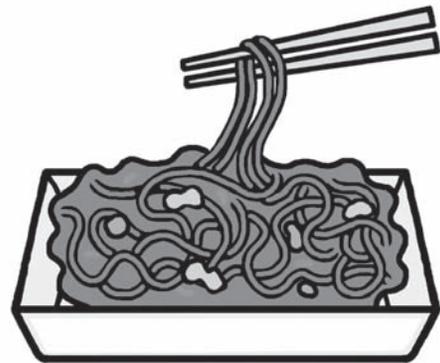
9月9日(土)～10日(日)に下水道科学館で下水道科学館フェスタがありました。僕は商品の受け渡しを担当しました。お客様と対応して接客したり、マイクメガホンで商品の売れ残りを宣伝をするのがとても楽しかったです。

もし下水道科学館フェスタへ行く機会があったら、商品を買に行きたいです。



三つあつたらいいと思いました。

昼食に出たヤキイバは味は良かったのですが、話に出たとおり、同じ分量のパック詰めできるようにするのが来年の課題だと思います。



今していること。

余田 知広

店の掃除をしています。
皿洗いをしています。
弁当洗いをしています。
弁当配達をしています。



下水道バザーの感想

横窪 友美

私はひだまりでキャベツを洗っていました。とても大量だったので、大きなボウルとサルがあと二つ



就労継続支援事業B型
共働サービス

たねや

店舗業務/清掃/軽作業

- 自然食品・雑貨などの販売、店舗業務
- 出張販売 ■ 清掃委託業務
- 軽作業

休眠預金の活用 について 畑 憲一



休眠預金活用法が昨年12月9日に公布されました。法の施行が2018年1月に施行し実際の運用まで3年ほど先になりますが、急速に議論が進んでいます。10年以上預貯金の出し入れがなく放置されているお金が休眠預金と呼ばれていて、毎年およそ700億円のお金がこれまで銀行の収入になっていたそうです。

この法律では休眠預金は新たに作る預金保険機構に移され、さらに資金分配団体から公益活動にたずさわるNPO法人、ボランティア団体等の民間公益活動団体の公募により、助成や貸し付けが行われるという内容です。

法律では主に下記の3つの分野を公益活動とし助成の使い道となります。①子ども及び若者の支援(例:こども食堂、ニート等若年無業者など) ②日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援

(例:障がいや難病の孤立防止支援、ホームレス、DV被害交流サロンの運営、賃貸契約保証人引き受け、介護者同士の交流カフェなど) ③地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援(例:古民家改修での宿泊施設やカフェ店舗等リフォームによる地域活性化の取組、雇用の創出、限界集落の活性化、農村起業支援等)

上記の様に行政では取組困難な内容で、民間団体による社会課題の解決の為に法律の枠内で必要とされている活動に活用されるのですが、その活用される休眠預金は元々個人のお金で国民の財産です。助成を受ける側の団体もしっかりとした情報開示や社会的事業の成果を評価する整備(ソーシャルインパクト)についても議論が進んでいくと思われます。

申請方法などまだ不明な部分が多いですが、助成金、寄付以外の新たな資金調達として今後ライフとしてこのような活用を考えていかなかな〜、という前振り長い内容でした。興味のある方は内閣府のホームページ「休眠預金活用法」で検索!



下水道フェスタ

蜂谷 和輝

下水道フェスタで、ぼくは飲み物販売を担当していました。

飲み物をふいてわたしてふいてわたしてのくりかえしで、大変でしたが楽しかったです。

あと今年は、天気が良かったので飲み物がいっぱい売れて良かったです。



年末にむけて

高橋 繁広

10月のハロウィンにむけてデザインなどをつくりました。

こういうかんじでお客さまが来店してくれるといいですね。

クリスマスや年末のデザインも制作予定です。



次回のカイマチバザーは…

開催日 **10月24日(火)~26日(木) 10:00~17:00**

場所 札幌駅前地下歩行空間 憩いの空間

どうぞ
お立ち寄り
くださいませ!



Facebook 『共働サービスたねや』のFacebookでも、商品情報などを随時更新していますのでぜひご覧ください。
随時更新中! <https://www.facebook.com/taneya.life> 共働サービスたねやfacebook 検索



人と人、
心を紡ぐ一

ヘルパー派遣業務・在宅介護支援

ヘルパーステーション 繭結

ヘルパー派遣業務／在宅介護支援

- 居宅介護 ■訪問介護 ■重度訪問介護
- 介護予防訪問介護 ■福祉有償運送
- 行動援護 ■同行援護 ■移動支援

共同連《滋賀大会》に参加して

木谷 香奈子

9月2日、3日に滋賀県の立命館大学で開かれた共同連。ライフに入ってそれなりに経ちますが、はじめて共同連に参加してきました。

はじめての共同連が滋賀開催。一日の大半を乗り物移動で過ごす。滋賀県って遠いです…。そして今年に限って琵琶湖で大量発生 of 蚊って…別名「琵琶湖虫」、見事に刺されてきました…。

初の共同連、北は北海道、南は沖縄まで、本当に全国あちこちから集まってきていてびっくりです。

第一日はみんなの流れに身を任せ迷わないように歩いて歩くのが精一杯。広い講堂に集まり、Evangelic合唱団の歌声から始まった共同連。対談を聞くも勉強不足な私には話している内容がなかなか難しく話についていけない…。とりあえず、何か少しでも覚えなくてはと必死で聞いていたのですが、あれよあれよという間に講習会が終了し一日目終了…。頭にあまり入らなかった…気を取り直して二日目だ！

一日目の反省を活かし、二日目に挑む！朝からの分科会。8つの教室に別れてテーマについての話を聞く。私は事前に受けたいと話していた第8分科会「津久井やまゆり園」へ参加する。世間を騒がせた事件ということで、それなり的人数が参加していました。事件に関して3人の方がそれぞれの目線でお話をしてくれました。被害者家族からみた事件当時の様子。精神病を患った方

ら見た事件や事件後の様子や世間の見る目。障害のある当事者からみた事件の様子や世間の犯人への共感の多さ。それぞれの方が話し終えてわかったことは、当たり前だが、事件が起こって終わりではないということ。今回お話してくれた3人の事件後の生活は多少なりとも悪い意味での変化が生じているということ。いろいろと考えさせられる良い機会、とても勉強になった分科会だなと感じました。欲を言えば、聞きたい分科会は他にもあったので選択して聞く機会がもう少し増えたら良いのになと思いました。

余談ですが、北海道の気候に慣れた私には、あちこちでかけられていたクーラーの温度が寒すぎて、戻ってから幾分か体調を崩しました。旅館の部屋に付いていたクーラー。「弱」の次がなぜか「強」！そこは「中」でしょ！とツッコミを入れつつガチャガチャとつけたり消したりを繰り返しながら室内をうろうろと過ごしていたのでした。



ヘルパーステーション繭結では、共に働く仲間を募集しています！

ヘルパーステーション繭結(ゆい)では、ホームヘルパー(1級または2級ヘルパー資格保持者)を募集しております。まずはお話だけでも聞いてみませんか？ご応募お待ちしております。

- [勤務先] 西・東・北・厚別・白石の各区 ※勤務場所への直行直帰可
- [資格] 経験不問(学生さんもOK、ブランクがある方・未経験・勉強中の方も歓迎)
- [時間] 7:00~24:00の間で2~6時間位、週1~6日の勤務
- [給与] 時給900~1,200円以上、交通費規定
- [応募] 電話の上、写真付履歴書ご持参下さい。

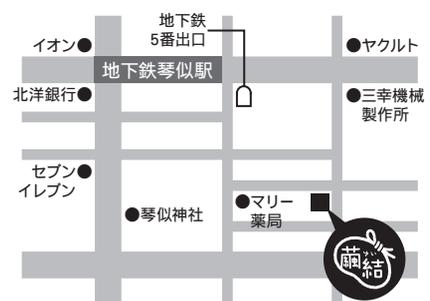
勤務先・時間・日数等、ご希望に合わせます。

連絡先



Tel: 011-623-2505 (佐々木)

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32





札幌市委託事業

アウトソーシングセンター

元気ジョブ

マッチング事業

- 民間・官公庁への営業活動
- 受注した業務の振り分け
- 授産品の販路拡大

旅にでるといふこと

富田 英人

10月です。というか11月になります。早いです。除夜の鐘のカウントダウンが始まります。こんなに一年が早いとは…、勘弁です。

実は先日サツマイモを買って、レンジで温めました。レンジの設定時間が長かったせいか、炭化？してしまって燃えました。火は出なかったですが黒くなって燃えました。レンジから物凄い勢いで煙が湧いてきてアッという間に部屋中が煙だらけになったのです。よく火災報知機がならなかったものです。あんなに煙の廻りが速いとは…勘弁です。

話は変わりますがここ数年、旅行に出かけることが多くなりました。札幌や北海道にないものが津軽海峡を越えた旅にはあるってことを知ったからかもしれません。東京へ行けば下町風情にふれることができるし、少し場所を変えてスカイツリーに上れば、宝石を散りばめたようなキラキラと輝く近代夜景が眼前に広がって多様で巨大な街を体感できます。また京都に行けば歴史と流れている時間を感じ、大阪に行けば無駄に元気な大阪人と接しウンザリしながらも元気をもらえたりします。いずれも今の生活圏である札幌、北海道にはないものです。この刺激が私には必要なのです。たとえば京都の寺院に行く前には、どんなお寺なのか概略をネットや本の二次元情報から得ます。そして現地に行きます。そうすると、いままで得た

情報に空気感が加わり益々想像を掻き立てるので。京都に源光庵という有名な庵があります。「悟りの窓」、「迷いの窓」でよく知られていますが、もう一つ「血天井」というものがあるのです。激しい戦の末落城したお城(伏見城)の木材がこの庵の一部に使われているのですが、よく観ると血の手形や足跡がいまでも確認できるくらいべったりと付いているのです。歴史によるとこの戦いは豊臣秀吉没後、伏見城にいる徳川方を石田光成の命を受けた小早川秀秋が攻め落とした戦なのだそうです。双方何を思って戦っていたのでしょうか？この手形の人は生き延びたのでしょうか？それとも果てたのでしょうか？歴史の結果を知る私には理解できない思いで闘ったのだらうなあ、そんな事を考えていると時間が経つことなど忘れ、そこに佇んでしまいます。傍から見れば何ボーっとしてんだろ？位にしか見えていないでしょうけど、このボーが私には必要な時間なのです。これから訪れる場所を調べることで知識が増えます。そして現地で知識以外の感覚を得たり想像したり、場合によっては疑問点を調べたり…。そんな繰り返しが脳みそへの刺激となり体力とか気力の劣化を遅くして…、というかこれからもっと色々な知識を得ていきたいとアクティビティを上げていきます。そして、どうゆう訳かこの楽しい時間旅行はアッという間に過ぎてしまうのです。勘弁です。でもまた思うのです。また知識と感覚を楽しませてくれる旅に出たいなあ。今度は何処に行こうかなあ。邪馬台国でも探しに行くか。

外注したい業務のある企業様に、その業務ができる施設をご紹介します！

役務 パソコン作業／テープ起こし／封入／シール貼り／草刈り／公園清掃／ポスティング／建物清掃 など

授産 印刷／ノベルティー制作／木工品／革製品／石鹸／パン／ケーキ／クッキー／野菜／お弁当 など

販売 出張販売／イベントなどでの出張販売／バザー など

その他さまざまご相談に応じますので、

詳しくは、元気ジョブまでお問い合わせください！(TEL:011-596-6581)

～施設紹介やイベント情報掲載！～ **元気ジョブブログ** <http://www.genkijob.jp/blog/>



札幌市リサイクルプラザ

発寒工房

環境事業／障害者・高齢者雇用促進

■木製家具や子供用遊具の修理・提供 ■自転車の修理・提供



札幌市リユースプラザ

厚別地区リサイクルセンター併設

環境事業／ごみ減量活動

■家具の洗い・簡易修理 ■資源物回収 ■木製家具や子供用遊具などの販売
■リユース自転車抽選販売 ■環境イベント、講座など

第34回共同連全国大会の参加後記

発寒工房 ジョン・ウルク

去る9月2日、3日の両日に掛けて滋賀県草津市の立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)で今年の大会が催されました。ライフからは7人の参加者が伊丹空港に降り立ち琵琶湖が近い大津市に宿を取り大会に参加しました。

本大会は地方に社会的企業制度を取り入れ、その良さを全国的に広げようとした滋賀県で、共同連が「社会的事業所宣言」をしたことで大きな意義があると思います。例えば札幌市は滋賀県の影響を受け2006年度より「障害者協働事業」制度を実施しています。ライフでは「もじや」と「発寒工房」が利用しています。しかし、地方自治体また中央政府の政策で「社会的企業」の法制化は行き詰まって進んでおらず、わずかな障害者の就労を支えている福祉的就労から自立支援法の就労継続支援事業所まで現在その根幹が揺らいで危機感を覚えています。

津久井やまゆり園事件から1年が経ちますが、その頃持たせられたこうむった緊張感は薄まってしまったのか! 皆さんを元気付ける就労関連の行政は退歩するばかりで、規律・制度は障害者をより社会から孤立させる道に疾走しているのでは無いかと…

初日の記念対談に招いた宮本太郎先生は障害者を含んだ社会的に不利な立場の人まで包摂出来る方法として社会的事業所が対案になると語りました。また社会的事業所が究極的に人生支援になるだろうとおっしゃりました。というのはユニバーサル就労、支援

付き就労・住居などを列挙しながら縦割り行政と繋がりがながら早期対応することがより効果が高いのですが、残念ながら現実はそう行かないようです。

基調演説で制度の限界を感じる中「社会的排除を無くす共働を目指して」のシンポジウムでは、草の根的な社会的事業の提案がありました。例えばワーカーズコレクティブでは地域の特性を受け継がせたい高齢支援者と共に働く喜びが新たな社会的事業を起し、その活動が地域の活気を取り戻しているのは印象的でした。また、ホームレス支援全国ネットワークの奥田知志さんから聞かれた「支援って何?」という問いかけは心に響きました。支援して3か月が経ったある日「ありがたいけど貰ってばかりで心が重いのもう支援は要らない」と支援を拒まれた経験から支援を見直したという話でした。人との絆を築き、人それぞれの人生の自立に通じる事は就労支援している自分にも改めて考えさせられる内容でした。

本大会では市民社会から社会的企業の価値が評価されるような環境づくりが切実に感じられました。しかし、A型事業所の運営見直しが進んでいる中、重要な原動力であり、現場の軸である支援する側の体力を奪わないか心配になりました。その現状を乗り越え社会的企業の体力を如何に付けるかが今後の課題になると思いました。終わりに、これからの「支援」には“互いに幸せを共有する”という事を考えたいと学んだ時間でした。

下水道科学館フェスタに参加して

発寒工房 斉藤 洋平

社会での活動を通して作業の中で生まれる繋がりなど共通の志を持った取り組みに関わることこそ社会に参加する意義、そして形成のプロローグの一つなのかもしれません。そうした意識のなかでの2日間は天候が? の状態でしたが、雨が降ることもなく青空も見え何か味方についてくれたのかなと思う一時でした。

当日工房のスタッフは各持ち場に付き、それぞれの作業を勤め1日のサイクルを送っていました。大井さんは昨年に続きフライドポテトの作業を担当し、スクープといった道具を使い量が一定となるよう微調整をしながらポテトを袋に入れていく流れの中で、慣れるまでに時間が掛かったのですが注重厚を跳ね除け、その大役を見事に果たしました。また関さんは焼きそばの作業の中で盛り付け、紅しょうが入れ、パックのゴム止めや箸添えなど数々の持ち場を担当しその類似希

なるゴッドハンドをいかに発揮していました。お二人とも真に作業に向き合いそれぞれのビジョンを持って取り組んでいたと思います。そうした中で私は初めての参加で始終緊張の連続でした。フランクフルトの焼き加減、かき氷のシロップ掛けや受け渡しの作業の中でミスが多々あり、「これでいいのだろうか?」「次失敗したら…」などのフレーズが頭の中にありましたが周りの皆さんのサポートや深呼吸をし失敗の引き金となる焦りの面を落ち着かせたことにより大きな問題もなく進めることが出来ました。そして何よりも

言葉のキャッチボールを通じることで互いの疑問点や理解を深められたことこそ一番のポイントだと実感することが出来ました。

環境の変化への認識、対応、切り替えのON・OFFが学べたこと、そしてつながりが織りなすパステルカラーの空間で作業が出来たことは心身ともに充実したものとなり、次回は今年以上に魅力的な物を築き上げていこうとポジティブな気持ちになれた2日間でした。



ともども秋まつり まつりだ環っ!無事終了

リユースプラザ館長 松永 クニ子

去る9月16日(土)またまた、とても良いお天気に恵まれて「ともども秋まつり まつりだ!環っ!」が開催されました。来場者数は401人とますますの入りでした。今回は、W・ARASHIとゆかいな仲間たちのキッズパフォーマンスがありました。総勢23人の迫力のダンスパフォーマンスで大いに盛り上がりました。そんなダンスですが、今回はイベントに参加している人も一緒に踊る!! というサプライズがありました。踊りはナント!



実は、子どもだけではなく、ともどもネットのメンバーさんにも大人気なのです!

大人気の岡林名人とのオセロ対決



みんなで楽しく踊りのようす

函館名物「いか踊り」~松永も踊りました(笑)振り付けは、W・ARASHIとゆ

かいな仲間たちの後ろに着くとすぐ踊れる!振り付けも繰り返し…しかし、意外とハードでした。翌日軽い筋肉痛がやって来ました。

なにやらW・ARASHIが出演してくれる時は、いか踊りもセットになりそうな予感です! その時は、皆さんもぜひ踊って下さいね!

屋外に屋台を出せるイベントは10月7日のリユースマルシェで終了です。来年の2月17日(土)開催の「リユースプラザ冬まつり」です。また、皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

リユースプラザの市民講座のこと

リユースプラザ 小野 克代

リユースプラザでは、年26回以上の講座や工作教室の開催をすることが業務としてあります。年4回の「ダンボール箱式生ごみ堆肥化講座」、年2回春と秋には発寒工房から自転車担当者を講師として行う「点検と簡単自転車修理教室」や古いジーンズ、ネクタイを使ったリフォーム教室、夏・冬の親子木工教室や簡単土曜工作教室などを開催して26回のノルマこなしています。そんな中、とっても素敵なのに参加者が少なくて残念な教室があります。それは、来る11月21日(火)に開催する「クリスマスリースづくり」です。



講師が用意してくれる、つるのリースに松ぼっくりをつけてヒバの枝を差していく~この説明だけではどんなの?? と皆さんに伝わらないと思いますので昨年の作品を~毎年少しづつ違う所があるリースがなんと300円で作ることが出来ます。申込みは11月11日(土)からです。詳細は広報さっぽろ11月号かHPでご確認下さい。

こちらは、予告です!申込みはお電話で、定員は先着10名です。直径は約40cmです。



共働事業所 もじや

札幌市障がい者協働事業所

印刷事業

- 各種デザイン ■各種印刷 ■その他企画・制作
- グッズ・ノベルティ ■看板・屋外広告 ■のぼり・横断幕
- テーブル起こし ■各種データ入力管理

新人紹介

よろしく
お願いします

佐藤 之寛

10月1日付けで共働事業所もじやに入社した佐藤之寛です。

私はデザインに関係する仕事に携わりたいと考え入社しました。

仕事に対して責任と熱意を持ち、自分の出来る力の限り頑張りますので、よろしくお願いします。



下水道バザー

中橋 敬人

9月9日、10日は、下水道バザーにでました。

8日に、バザーのじゅんぴをしてテントのくみたとかしました。

9日は、やきそばのもりつけをしてました。

10日もおなじところでもりつけをしました。2日間であつてびとうでが日焼けしてひりひりしました。



星園カフェの特別な日

永島 勝章

毎年行われてきた「星園祭り」を今年は「星園カフェの特別な日」として、たねやさんの自然食品やきばりやの野菜などを1階の廊下にお祭りの出店風な感じで行いました。

毎月1回行われている星園カフェのスペースにミニステージを設けて、音楽・本の読み聞かせや、トークリレー・入居団体の活動紹介を飲食しながら見る事が出来、こじんまりとした中でしたが学校祭風な懐かしい雰囲気、最初から最後まで楽しんでいられたお客様もいました。

リレー形式で「自分らしく人生を」というテーマのもと、古民家を自ら改修しギャラリーを始めた方と、太陽光発電を設置し、地産地消、地域創世にチャレンジ中の方、お二人のトークに引き続き、自分も出させていただきました。

今回は女子大生との掛け合いという事で、ワクワク、ドキドキしながら「そんなに時間をかけなくても

良いだろう」と思われる、ねんみつな打ち合わせのかわりもあり、40分のトークで仕事や家族、障害があるからこそ経験できた事などをユーモアを含めながら話させてもらって、その中でお客さんが笑ってくれたり、真剣に聞いてくれたりしてくれていたのが、成功に終わったと思っています。(無料で着付けてもらった、羽織袴は暑かった～)

汗だくだった羽織袴を脱いで、最初のビールを飲んだ瞬間頭がグラツとききましたが、焼き鳥と焼きそばを焼き続けていたもじやと元気ジョブの皆さんもぐったりで、疲れきった中での打ち上げとなりました。



平成29年度産低農薬米『ゆめぴりか』 年間契約販売のご案内

年間契約
受付中!

北海道の『ゆめぴりか』

こころやでは、ご注文をいただいてから精米し、お届けしております。精米したての新鮮なお米の美味しさを、ぜひご賞味ください。

2017年10月中旬、新米入荷予定

こころやでは、ご注文をいただいてから精米し、お届けしております。精米したての新鮮なお米の美味しさを、ぜひご賞味ください。



北海道の優良品種
極良食味米

3kg 1,590円
5kg 2,650円

契約農家による低農薬米 だから安心・安全—

北海道勇払郡厚真町で、自然と付き合いながら農業を続けて50年、本田農場の『ゆめぴりか』を使用しています。

山深い厚真川の水田用水を利用し、除草剤・イモチ防除剤を各1回しか使用しない低農薬栽培をすることで、安心・安全な美味しい米づくりに取り組んでいます。



お客様のお好みに応じて
精米いたします

玄米

7分づき

白米

美味しくて栄養たっぷりの「7分づき」

玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「7分づき米」です。玄米の栄養素と白米の美味しさの「いいとこ取り」として今大きな注目を集めています。白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。

年間契約販売は
10kg単位のご注文からとなります

《有効期限》
2017年10月1日～2018年9月30日の1年間

5%
OFF

60kg以上年間契約をしていただくと、値段より5%引かせていただきます。

通常31,800円が → **30,210円**

1,590円OFF!

送料
無料

年間60kg以上ご契約のお客様は、配送料無料とさせていただきます。

※対象は琴似エリアのみとさせていただきます。周辺応相談。

お買い求め・年間契約のお申込みは



生活介護事業

こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

記入日	月	日
-----	---	---

平成29年度産低農薬米『ゆめぴりか』年間契約販売申込書

ご契約者	フリガナ					
	お名前					
	住所	〒	—			
	電話番号	()	—	FAX	
		携帯電話				
お届け先	<input type="checkbox"/> 申し込み住所と同一 <input type="checkbox"/> その他（下記に記載の住所） 店頭受取（いずれかに○）【こころや・たねや・ひだまり】					
	〒 —					

契約数量	年間		Kg
------	----	--	----

お支払い方法	<input type="checkbox"/> 現金支払（ご来店予定日 月 日） 営業時間：平日10:00～17:00		
	<input type="checkbox"/> 銀行振込（ご入金予定日 月 日）		

振込先	銀行名	<input type="checkbox"/> 札幌信用金庫 琴似支店	口座番号	普通 4297231
	口座名	特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ こころや		
	銀行名	<input type="checkbox"/> 北洋銀行 琴似中央支店	口座番号	普通 4660616
	口座名	特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ こころや		
	銀行名	<input type="checkbox"/> ゆうちょ銀行	口座番号	振替口座 02710-4-63485
	口座名	NPO札幌障害者活動支援センターライフ		

※振り込んだ銀行名にチェックを入れてください。

申込書郵送先 生活介護事業 こころや
 〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F **TEL** 011-614-1871

FAX (011)613-9323

		事務記入欄				
こころや記入欄	価格	契約表	弥生入力	入金	日付	受付担当者

ライフ事業所一覧

- ◇NPOライフ本部事務局
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
- 共働事業所きばりや
TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323
- こころや
TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

- 〒063-0812
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

- コン・プリオひだまり
TEL 011-615-4131 FAX 011-615-4132

- 〒063-0812
札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F

- 共働サービスたねや
TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088
- ヘルパーステーション繭結(ゆい)
TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

- 〒063-0804
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F

- アウトソーシングセンター元気ジョブ
TEL 011-596-6581 FAX 011-596-6582

- 〒064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園103

- 共働事業所もじや
TEL 011-596-6583 FAX 011-596-6584

- 〒064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園104

- 相談室らいふ
TEL 080-6076-1474 FAX 011-596-6584

- 〒064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園203

- Cafe de Kibariya(カフェ・ド・キバリヤ)
TEL・FAX 011-758-6533

- 〒060-0808
札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内3F喫茶コーナー

- リサイクルプラザ発寒工房
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816
URL <http://www.reuseplaza.jp/10hassamu.html>

- 〒063-0835
札幌市西区発寒15条14丁目2-30

- 札幌市リユースプラザ
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155
URL <http://www.reuseplaza.jp>

- 〒004-0003
札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

10月 イベントカレンダー

24日 (火) たねや
カイマチバザー出店
札幌駅前地下歩行空間 憩いの空間
10:00~17:00

26日 (木)

最新の情報は、<http://www.npolife.net>
ホームページを
ご覧ください！

《NPOライフブックレットのご紹介》

ぼくたちだって人間だ!!



障害者として生まれた満美。話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で自殺まで考えた彼が今、『生きていて幸せだ。』と言えるのは…
岡林満美、渾身の一冊、**ぼくたちだって人間だ!!**
定価 **800円**(送料別)

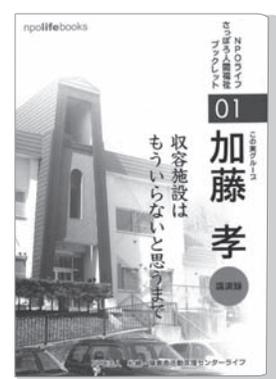
NPOライフブックレットNo.3
A5判 134ページ

岡林満美のCD

僕たちの
小さい命
定価 **300円**
(送料別)

収容施設はもういらないうるまで

この実グループ加藤 孝 講義録



私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、「福祉施策」を必要とする人々を見下したときに使われることが多いように感じられるから…
本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」に成り下がっている』という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぽろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPOライフブックレットNo.1
A5判 72ページ

定価 **840円**

ブックレットのお申込みは、NPOライフ本部事務局まで！
メールでのお申込みは ⇒ main_lifemail@npolife.net

ご協力ありがとうございます(順不同・敬称略)

- アドボケ購読料** 二部 黎 遠藤 昭 土井 裕之
- 寄付金** 加藤 きよみ 川村 勇 二部 黎 工藤 まさゆき 遠藤 昭
- 賛同会員会費** 二部 黎 吉田 節子
- 寄付金(ビル建設)** 西道 敏一

ライフカンパのご案内 ~だれもが地域であたりまえに暮らし、働くことができる社会を作ろう~

ライフは障害の種別を超え、「働きたい」と願う人の気持ちを繋ぐために25年以上活動を続けてきました。これからも、障害のある人ない人をはじめ、社会的に不利な状況にある人たちも含めた、共に働き共に生きていく「社会的事業所」づくりをすすめていきます。ライフの活動に共感してくださる皆様方からの応援を是非ともお願いいたします。

お振り込み先	口座番号/加入者名
北洋銀行	琴似中央支店 普通預金 4606735 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
札幌信用金庫	琴似支店 普通預金 3296744 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
ゆうちょ銀行	振替口座 02710-4-63485 NPO札幌障害者活動支援センターライフ

月替わりコラム
~私のオススメ~

ら~めん信玄

元気ジョブ 前野 充

私のオススメは、「ら~めん信玄」南6条店です。

「ら~めん信玄」の本店は石狩市花川にあり、南6条店は、ススキノの外れでしかも少しわかりづらい場所にあるにも関わらず、常に行列が出来るラーメン屋です。

特に味噌ラーメンがオススメの店で、カウンター13席の店内はどの時間帯に行っても満席状態です。信州(コク味噌)は、コク味噌とはいえまろやかで、濃すぎず最後まで飽きずに楽しむ事ができます。正油と塩は、あっさりとした物とこってりした物の2種類が有り、スープは豚骨をベースに煮干しや野菜を数種類加えて、素材の旨さが出ています。

札幌のおすすめの味噌ラーメンは、すみれ・けやきなど全国的に有名な店も有りますが、「ら~めん信玄」が一番美味しく思います。

是非、一度召し上がってみてください。



【住所】
札幌市中央区南6条西8丁目
【営業時間】
11:30~翌朝1:00
【定休日】
年中無休

編集後記

札幌にある手稲山も初冠雪(10/5)となった。これから北海道はどんどん寒くなる。我慢していた暖房のスイッチも入れてしまった。陽も短くなり、寒くなると何となく寂しくなる。特に誰もいない家へ帰るのは尚更。主に妻が乗っていた自動車もやっと処分した。どうしようかと迷っていたが、やはり処分することにした。ガランとしてしまった駐車場を見るとこれまた寂しくなる。そんなセンチメンタルに浸っているまもなく、選挙モードで街が騒がしい。障害者福祉についてどうなるのか、候補者や政党に注目して選挙に臨みたい。本誌が皆さまの手に届く頃には結果が出ている頃だろう。我が国の社会保障はどうなっていくのか、大きな節目になるだろう。(タケ)

おどろけ
2017年10月号
No.202 定価 100円

2017年10月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号547号 1973年1月13日第三種郵便認可 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会
編集者=我妻 武
◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
E-mail main_lifemail@npolife.net ホームページ <http://npolife.net/> 郵便振替口座 02710-4-63485